

平成 30 年度 第 7 回理事会議事録

- 1 日 時 平成 31 年 2 月 12 日(火)午後 3 時 00 分～4 時 55 分
- 2 場 所 協会事務室
- 3 出席者 理事 12 名 監事 2 名 欠席 大滝理事
- 4 進行 竹内会長
- 5 協議事項

(1) 第 2 回定期総会の開催について

①平成 31 年度事業計画書(案)について

会長から計画書案について説明があり、原案を総会議案とすることが了承された。

②平成 31 年度予算書(案)について

前回の理事会で提案のあった会員病院役職員が講師謝礼の値上げについて、資料に基づき事務局長から説明があり、協議の結果医師を3万円(現行:1万7千円)、その他の職種を2万円(現行:1万5千円)とすることとなった。

これに伴い、予算案については「教育費」を160万4千円と修正のうえ総会議案とすることが了承された。

③総会の役割分担について

協議の結果、司会は坂井理事、議長は横浜相原病院の吉田院長に決まった。また日精協神奈川支部総会と神精協政治連盟総会の司会も坂井理事に、日精協社員総会の説明者は坂井理事に、神精協政治連盟総会の監査報告は長谷川監事に、懇親会の司会は坂井理事にそれぞれ決まった。

(2) 各種委員の推薦について

「相模原市精神保健福祉審議会委員」

協議の結果、増田理事を推薦することとなった。

「横浜市精神医療審査会委員」

協議の結果、引き続き畑理事、黒岩理事及び長谷川監事を推薦することとなった。

「葉山町いじめ問題調査会委員」

協議の結果、湘南病院の尾野医長を推薦することとなった。

「生活保護法関係嘱託医」

協議の結果、秦野厚生病院の坂井理事を推薦することとなった。

(3) 4 月～5 月の連休中の休日輪番病院の確保等について

会長から、県からの依頼文に基づき大型連休中の輪番病院の確保について説明があった。現在会員病院へ連休中の対応可能日についてアンケートを実施しているところであるが、現段階で5月1日、3日、4日、5日などで必要病床が埋まらない状況である。なお4県市からは輪番病院以外に基幹病院からの後方移送の受入病床を5月1日と2日にそれぞれ2床確保して欲しいという話も来ている。今後はアンケート結果をもとに事務局でたたき台を作り、再度アンケートを実施して後方移送の病床も含めた大型連休中の必要病床を確保していくこととしたい。

6 報告事項

(1) 日精協報告について

大野副会長から、平成 30 年度第 6 回理事会(1 月 11 日開催)の概要について報告があった。

○2019 年度事業計画書(案)について

○2018 年度収支補正予算(案)について

○2019 年度収支予算(案)について

○日精協創立 70 周年記念式典について

- 「精神障害者にも対応した地域ケアシステム」に関する見解(案)について
- 分科会の新設について

他

坂井理事から第14回社員総会の概要について報告があった。

- 外国人受入れに関する制度について
- 平成31年度税制改正大綱について
- 日本専門医機構の動向と心療内科について
- 病院経営管理委員会からの報告について
- 医師の働き方改革について
- 認定精神科医療安全士について
- 日本精神科病院協会大規模災害基本方針について

他

- (2) 薬物依存のある保護観察対象者等に対する地域支援連絡協議会について
資料に基づき、増田理事から報告があった。
- (3) 精神科看護技術研修について
資料に基づき、武田理事から報告があった。
- (4) 看護部長会について
資料に基づき、長谷川監事から報告があった。
- (5) 第6回理事会議事録について
議長から、修正があれば事務局に連絡するよう発言があった。
- (6) その他
県内の精神科救急医療体制の維持・改善について、措置診察の際の2名の指定医師の選定を中心に意見交換があった。